

## SKIPの講師紹介 山口榮一

長年、大学・大学院で教育方法の教育・研究にたずさわり、その間、小学館のドラゼミの監修、学習塾や進学教室のプログラム開発、学習塾講師検定の立ち上げなどを通して、中学入試、特に中学入試算数に関わる一方、中学入試に悩む子どもたちの支援も行ってきました。また、大学での教育を通して、正解をいそぎ、パターンを覚えることで、算数や数学の楽しさ、原理を理解してこなかった学生たちにも数多く出会ってきました。そのためひとりでも多くの子どもたちが、算数の原理を理解し、算数を楽しんでほしいと、昨年度より本会を立ち上げるに至りました。

**本会の主旨** 中学入試算数には、思考力を育てるための良問が数多くあります。社会人が就職の問題として取り組むSPIの非言語性の問題の多くは、中学入試算数と重なります。それだけ、中学入試算数は、思考力の育成に適しているのです。しかしながら、それも、つめこみ、競争的に教えられれば、そのよさも失われます。入試を視野に入れなければならない小5、6年であればそれもやむをえない部分もありますが、小3、4年では、まだまだその必要はありません。

そのため、本会では、まだまだ時間的に余裕のある小3、4年生が、中学入試算数のなかで理解可能な範囲で問題に取り組み、算数・数学の教科特有の論理を理解し、その領域をその子なりに理解し、探究する機会を与えたいと考えています。それは、その後の中学入試だけでなく、論理的、数学的な思考力を身につけるために、もっとも重要なことと考えています。**急いで事は仕損じます。**したがって、SKIPでは、理解を重視し、結果を急ぎませんので、その主旨を十分に理解し、ご参加いただくことをお願いします。

**授業の進め方** 本会では、「深い理解」を重視し、中学入試算数に求められる原理を、小学3、4年生の子どもたちが、それぞれのレベルと進度で学んでいきます。したがって、学校の補習ではなく、6年生で扱う範囲も、3年次で学べる範囲で取り上げます。そのために、グループでの学習、個別での学習を組み合わせます。活動の導入には、囲碁、将棋、コンピュータプログラミングをグループで楽しみます。それは、算数だけでなく、コミュニケーション力、直観力や問題解決力をつけるのに適しているからです。できれば、囲碁、将棋は、ご家庭でも楽しんでほしいと願っています。Systematic, Critical Thinking が注目されていますが、そのためには、自分が興味ある領域で、どのようにしたら向上していくのかという目的的な活動が大切であり、算数だけでなく、囲碁、将棋、コンピュータは、広い意味で、こうした力をつけるのに役立ちます。

開講日：小3 毎週水曜日 16時30分～19時

小4 毎週木曜日 16時30分～19時

(会場は16時からオープン。8月と次年度3月は原則お休み)

場所：森上教育研究所セミナールーム

費用：月4回 15000円(入会金なし、8月、3月は不要)

(プログラミング用のPCは、マイPCとして、15000円程度で授業で組み立てることもできます。学校で使われるスクラッチと、一般に使われるPythonが動作可能です。)

教室規模：小3、4とも、各8名以内

入会方法：下記①～⑤を明記の上、skip.yamaguchi@gmail.com宛てにお申込み下さい。

① 保護者氏名 ②お子様の名前 ③学校名 ④メールアドレス ⑤ご要望、ご質問等

※見学も随時受け付けています。